

# 福島第一原子力発電所

## 4号機復水貯蔵タンクの水位低下について

< 参 考 資 料 >  
2 0 1 9 年 1 月 2 3 日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

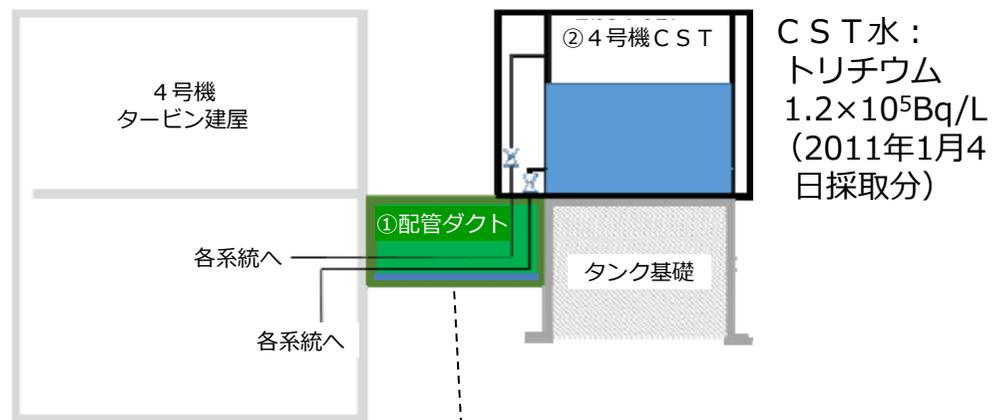
- 4号機復水貯蔵タンク（C S T）の水位\*が低下傾向（80.5% 67.7%）にあることを、2019年1月18日に確認しました。（2016年11月頃から徐々に低下傾向を示しており、1月18日時点で低下量は約300m<sup>3</sup>）
  - \* 4号機C S Tに保管している水は、震災以前のプラント内で使用した水であり、原子炉水等に存在するトリチウムが $1.2 \times 10^5$ Bq/L程度（他核種は検出限界値未満）含まれている。
- 低下傾向にあることを確認した経緯は、以下のとおりです。
  - 2019年1月10日にトレンチ等の溜まり水点検を行ったところ、4号機タービン建屋海側にある配管ダクト内に約3m<sup>3</sup>の溜まり水があることを確認しました。（当該配管ダクトについては、2017年11月に約5m<sup>3</sup>の溜まり水が確認されており、その水については移送済み。）
  - 当該配管ダクト内に溜まり水があった要因として周辺設備の調査を行っている中で、C S T水位が低下傾向にあることを確認しました。
- 4号機C S Tは2重構造で、タンクからの配管は4号機建屋のみに繋がっており、2019年1月22日に現場状況を確認した結果、4号機C S Tや配管からの漏えいは確認されなかったことから、4号機C S Tの水は配管内を通じて建屋内に流入したものと考えています。
- また、4号機C S Tの水位が低下傾向にあることが確認された2016年11月以降に採取した近傍サブドレンピットの水において、トリチウム濃度に有意な変動は確認されていません。
- 当該配管ダクト内にある溜まり水の調査、およびC S Tの水抜きについて検討してまいります。

# 4号機CSTの状況

## 3, 4号機概要



## 4号機CST近傍断面図



3 m<sup>3</sup>の溜まり水 (トリチウム)

- $4.1 \times 10^4 \text{Bq/L}$  (2019年1月10日採取分)
- $4.6 \times 10^4 \text{Bq/L}$  (2019年1月22日採取分)



①配管ダクト内の状況



②4号機CST外観